

倫理審査委員会審議記録

日時 令和7年9月30日(火) 午後7時00分～午後7時20分
場所 公立松任石川中央病院 講義室
出席委員 学識経験者：古澤委員長、柳委員、加藤委員、柴田委員、柿木委員
院内委員：尾山委員、押野谷委員、山下委員(事務局兼)、石井委員、村瀬委員、
宇野委員
欠席委員 院内委員：岡田委員

0. 外部倫理審査委員の委嘱

企業長より学識経験者に当委員会外部委員の委嘱状を手渡し、全員から承諾をいただいた。

1. 委員長あいさつ

2. 臨床研究にかかる院内審査案件の報告

現在までの院内審査とした事項23件(当院→終了(中止)9、継続5、大学等主導→終了(中止)3、継続6、サーベイランス→終了(中止)0、継続0)について報告・説明した。

(1) 心臓カテーテル室教育マニュアル作成後の現状と今後の課題

・研究期間：倫理審査承認後～R6.6、症例数：5例、第62回全国自治体病院学会(2024.10.31～11.1)にてポスターセッション発表済みのため終了。

(2) 当院におけるIVL(血管内破砕術)の急性期、亜急性期成績について

・研究期間：R5.6～R5.12、症例数：68例、検討終了。第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(2024.7.25～7.27)にて発表し終了。

(3) Digital BGO PET-CT装置におけるDeep Learning 画像処理の病変描出能の検討

・研究期間：R6.4～R6.5、症例数：症例は無し。(ファントム実験)、第44回日本核医学技術学会総会学術大会(2024.11.7～9)で発表し終了。

(4) 抗菌薬に耐性を示すPseudomonas aeruginosa 感染症の発生状況に関する研究

・研究期間：～2025.3.31、症例数：2018年～2023年までの緑膿菌検出患者：243名、CRPAが分離された患者：21名、メロペネム耐性保菌患者：5名、CRPA 感染症患者：14名、MDRP 保菌者：1名、MDRP 感染症患者：0名終了。

(5) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の治療抗菌薬と予後の相関解析

・研究期間：～2025.3.31、症例数：CRE 感染症患者：2例 終了

(6) 血液透析患者の運動行動意図尺度の開発

・研究期間：倫理審査承認後(R6.6.18)～R9.3.31、症例数：血液透析療法を1年以上継続している18歳以上の患者10名、調査終了し、現在論文作成を進めており、学会発表を予定している。(継続)

(7) 軽度認知障害(MCI) 予防のための栄養介入

- ・研究期間：R4. 11～R6. 3、症例数：95 症例、白山市「あたまとからだの健康促進事業」は介入期間 3 年間のため。第 62 回全国自治体病院学会(2024. 10. 31～11. 1)ポスター発表にて終了。
- (8) 癌微小環境が消化器癌治療や予後に及ぼす影響
 - ・研究期間：倫理審査承認日～2026. 3. 31、症例数：29 例、2025. 3. 31 で代表者が退職のため終了。
- (9) アミロイドーシス病型診断のためのウサギモノクローナル抗体開発
 - ・研究期間：～2025. 11. 30、症例数：3 例、期間中アミロイドーシス病型診断の依頼があれば、更に症例が追加される可能性あり。(継続)
- (10) 乳癌化学療法中の患者の栄養状態についての調査
 - ・研究期間：R6. 8. 21～R7. 2. 14、症例数：71 名、第 40 回日本栄養治療学会学術集会(2025. 2. 14～15)にて発表したため終了
- (11) 既存臨床情報を用いた腎臓病・リウマチ膠原病疾患に関する観察研究
 - ・研究期間：～2028. 3. 31、症例数：0 例、他施設の症例を含めた観察研究の進行や疾患データベース構築が目的。金沢大学附属病院より依頼があれば症例登録を開始する。(継続)
- (12) CT または MRI 陰性総胆管結石におけるコンベックス型超音波内視鏡検査(EUS)の有用性の検討
 - ・臨床研究担当者の変更、研究期間：2025. 12. 31 まで、症例数：51 例(目標 100 例)、2025. 3. 31 迄に 51 例登録した。研究成果については 2025. 5. 9～11 迄に開催された第 109 回日本消化器内視鏡学会総会で当院からの演題として発表した。
- (13) 放射線治療における CT 画像のアーチファクトに起因する線量誤差を評価する手法について
 - ・ファントム作成の後、画像を取得して解析を進める予定(継続)
- (14) 第 8 回尿路結石症全国疫学調査
 - ・症例登録は継続中
- (15) Flutemetamol を用いた認知症検査における撮像プロトコルの最適化
 - ・研究期間：2025. 1. 21～2025. 3. 18、症例数：9 例(10 例を予定したが 1 例同意が得られなかった)
静注後の待機時間の短縮を目的として、静注後 60-80 分と 90-110 分の 2 回撮像し、両者を比較した。局所分布は同等であった。静注後 60-80 分における SUVR 値 (SUVR60-80min) から 90-110 分撮像におけるセンチロイド値 (CL90-110min) を推定できるか否かを検討した。両者の相関は、 $CL90-110min = SUVR60-80min * 147.38 - 143.68$ (n=9, R2=0.999) と良好であった。なお、センチロイド (CL) に関しては文献 1 を参照。この計算における SUVR とは、テント上の関心領域の SUV 値と小脳全体の SUV 値との比である。4 月 2 日以降、静注後 60-80 分撮像を行い、上記相関式を用いて 90-110 分撮像におけるセンチロイド相当値を算出し、レポートに記述している。(終了)
- (16) インスリンに関するインシデントレポートの分析ーインスリン注射指示受けマニュアル改

訂後の評価ー

- ・研究期間：R6. 11～R7. 11、症例数：インシデントレポート 26 件、インシデントレポート 閲覧についての同意書を配布し、同意が得られた方のインシデントレポートを医療安全部 より頂いた。これからそのインシデントレポートを分析予定である。(継続)
- (17) 身体拘束に対する看護師の精神的負担の変化～アセスメントツール使用前後の比較～
- ・研究期間：R6. 11. 29～R7. 11. 28 研究発表会迄、症例数：9 例、令和 7 年 3 月～4 月にかけて、症例 9 例に対してのインタビューが終了し、現在データの分析、論文作成を行っている。(継続)
- (18) 人工呼吸器装着患者に対する身体拘束解除の判断基準に関する実態調査～身体拘束解除チェックリスト作成に向けて～
- ・研究期間：倫理審査承認後～R7. 3、症例数：A 病院 ICU 病棟看護師 10 名、令和 7 年 12 月に質問紙による調査を実施し、集計・分析を行った。研究計画通り、論文作成を行っている。(継続)
- (19) 食生活チェックシートを用いた維持血液透析患者の栄養量評価について
- ・研究期間：R6. 6～R7. 3、症例数：90 例、データ集計は終了し、令和 7 年 6 月 28 日 第 70 回日本医学会学術集会に於いて口演発表。(終了)
- (20) Photon-counting CT を用いた転移性骨腫瘍の性状・局在把握能の検証
- ・研究期間：2025. 2. 27 より 2 年程度を予定、症例数：4 例(当院脊髄骨腫瘍へ放射線治療を行った方は 5 名。うち 1 名は軽度の閉所恐怖症がありヘルシンキに基づき研究参加不適とした。その他 4 名は研究参加を希望された。)MRI 画像との比較により、腫瘍部は骨髄モードのイメージングで強いシグナルを呈することが示された(登録症例で観察する限り)。現在、放射線治療時の経過観察を行っている。フォトンカウンティング CT 撮像時、撮像後のトラブルは無し。2025. 2. 27 より開始し、昨年度は 3 名参加を希望され、現在経過観察中である。(継続)。
- (21) HAYATE 試験(低腫瘍量転移性ホルモン感受性前立腺癌患者における標準アンドロゲン遮断療法およびドセタキセル併用ダロルタミドの観察研究)
- ・症例数：2025. 5 時点で 1 症例 (継続中)
- (22) 当院における Photon-Counting CT と Dual-Layer CT の臨床での棲み分けについて
- ・研究期間：～2025. 3、症例数：5 例、2025. 3. 2 第 17 回北陸 3 県診療放射線技師学術研修会にて口述発表。(終了)
- (23) ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後患者が抱える排尿機能障害の実態調査
- ・研究期間：2025. 1. 16～2025. 6. 30、症例数：現在 20 症例(30 症例予定)
対象者に研究の目的、方法及び以下に配慮して実施することを文書及び口頭にて説明し、同意書への署名にて同意を得る。同意書及び回答済みの質問紙・データが入力されている USB は病棟内で鍵をかけ保管する。研究結果は学術目的以外に利用しないこと、公表時は個人及び対象施設が特定できないように行う。面談はプライバシーを確保できる個室で行い、調査対象の体調を確認した上でを行っている。(継続)

○ 院内審査案件について、異論がないようなら承認するということよろしいか。

- (6)の「質問紙の返送をもって同意が得られたとする。」とあるが、同意の仕方は確認が必要であり、返送だけでは認められない。アンケート内容で確認できればOKとの意見があった。大学からの調査表であり、確認する。
- 以上(1)～(23)について承認された。

3. 学術報告等にかかる院内審査案件の報告(資料24)

前回報告以降～令和7年6月までの学術報告申請

資料24

申請番号	申請者	申請内容	学会名日時等	判定日	判定	備考
R6-13	金木 亮	施設設備部門からはじめる経営支援	第62回全国自治体病院学会 in 新潟 新潟県新潟市 朱雀メッセ・新潟コンベンションセンター ポスター発表 2024.10.31(木)～11.1(金)	2024/07/08	承認	
R6-14	松崎 貴光	報告書管理体制における診療放射線技師の取り組みについて	第64回全国国保地域医療学会 岩手県 いわて県情報交流センター ポスター発表 2024.10.4(金)～10.5(土)	2024/07/16	承認	
R6-15	牧本 泰子	A病院での嚥下サポートリンクナースの取り組み	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 福岡県 福岡国際会議場 マリンメッセ福岡 B棟 ポスター発表 2024.8.31(土)	2024/07/23	承認	
R6-16	石井 要	特定行為研修制度は外科診療にどのような影響を与えるかを明らかにする	第125回日本外科学会定期学術集会 宮城県仙台市 パネルディスカッション 2025.4.10～4.12 予定	2024/07/23	承認	
R6-17	樋口 陽子	『栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連』特定看護師ができること	第17回看護実践学会学術集会 石川県 地場産業振興センター 2024.9.14(土)	2024/07/24	承認	
R6-18	正田 由美子	嚥下サポートチームが行う、入院患者への口腔ケア回診の課題	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 福岡県 福岡国際会議場 口演発表 2024.8.31(土)	2024/08/05	承認	
R6-19	村井 あずさ	その人らしさにつなげる ACP リーフレット活用	日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会 石川県 金沢歌劇座 示説 2024.10.13(日)～14(月)	2024/08/08	承認	
R6-20	田邊 晴葵	胃癌患者への術前栄養指導の介入効果の検討	第40回日本栄養治療学会学術集会 パシフィコ横浜 ノース 2025.2.14(金)～15(土)	2024/08/16	承認	
R6-21	唐木 崇成	令和6年(2024)能登半島地震の対応について	令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回) 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪) 口演 2024.11.3(日)～4(月)	2024/09/04	承認	
R6-22	長東 菜穂	乳癌化学療法中の患者の栄養状態についての調査	第40回日本栄養治療学会学術集会 パシフィコ横浜 ノース 他 2025.2.14(金)～15(土)	2024/09/05	承認	
R6-23	山本 誠	災害時における受入可能患者数可視化取り組みの失敗と現場が必要としたもの	第44回医療情報学連合大会、第25回日本医療情報学会学術大会 福岡県 福岡国際会議場 ポスター発表 2024.11.21(木)～24(日)	2024/09/10	承認	
R6-24	米山 達也	2回のRAI療法後に薬剤療法で管理可能となったT3優位型ノセドウ病の1例	第67回 日本甲状腺学会学術集会 パシフィコ横浜 ポスター発表 2024.10.3(木)～5(土)	2024/09/17	承認	
R6-25	米山 達也	FDG-PET検査で化膿性閉鎖筋炎とCrowned dens 症候群の合併を診断した1例	第64回 日本核医学会学術総会 パシフィコ横浜 口演 2024.11.7(木)～9(土)	2024/09/17	承認	

申請番号	申請者	申請内容	学会名日時等	判定日	判定	備考
R6-26	金原 寛子	摂食嚥下サポートチームにおける薬剤師の役割ー摂食嚥下に影響を与える薬剤ー	第34回 日本医療薬学会年会 幕張メッセ シンポジウム 2024.11.2(土)~4(月)	2024/09/17	承認	
R6-27	金原 寛子	電子処方箋の運用と調剤薬局との連携 (医療薬学会)	第34回 日本医療薬学会年会 幕張メッセ 口演 2024.11.2(土)~4(月)	2024/09/17	承認	
R6-28	山本 治樹	Digital BGO PET-CT 装置における Deep Learning 画像処理の病変描出能の検討	第44回 日本核医学技術学会総会学術大会 パシフィコ横浜 口演 2024.11.7(木)~9(土)	2024/09/17	承認	
R6-29	山下 匠造	心アミロドーシスにおけるピロリン酸シンチの新しい定量法の提案	第64回 日本核医学会学術総会 パシフィコ横浜 口演 2024.11.7(木)~9(土)	2024/09/24	承認	
R6-30	黛 陽子	虚血性心疾患患者の継続指導の有効性と行動変容について	日本心臓リハビリテーション学会第10回北陸支部地方会 石川県 地場産業振興センター 口頭発表 2024.11.9(土)	2024/09/26	承認	
R6-31	木村 友紀	アシクロビル脳症を発症し持続的血液濾過透析にて改善した一例	第32回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 石川県 金沢市アートホール(ポルテ金沢6F) 2024.10.19(土)	2024/10/01	承認	
R6-32	山森 文敬	I gA 腎症とマンツル細胞リンパ腫を合併し腎組織へのリンパ腫浸潤をみとめた1例	第54回日本腎臓学会西部学術大会 兵庫県 アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター) 2024.10.5(土).6(日)	2024/10/01	承認	
R6-33	石井 要	安全に行う Cvport 造設術	第40回日本栄耀治療科学術集会 神奈川県横浜市 一般演題応募予定 2025.2.14~2.15 予定	2024/10/03	承認	
R6-34	城寶 歩未	看取り期を自宅で過ごした高齢者への訪問看護師の支援	日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会 石川県 金沢歌劇座 ポスター発表 2024.10.14(月)	2024/10/11	条件付き承認	※次回より承認日が発表前となるよう、余裕を持って事前申請して下さい。
R6-35	大味 幹恵	「輸血医学教育ー現状の課題と将来への取り組みー」~検査技師の立場から~	第42回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会 富山県 富山大学(杉谷キャンパス) 口頭発表 2024.11.16(土)	2024/10/17	承認	
R6-36	横山 千夏	うつ状態の悪化と寛解を繰り返す老年期女性の退院支援ー初めての独居生活に向けたサービス調整ー	第31回石川県看護学会 石川県 金沢大学附属病院 口演発表 2024.11.16(土)	2024/10/18	承認	
R6-37	松田 鈴花	がん患者の家族が辿る予期悲嘆に対する看護師のコミュニケーション能力とその効果ー悲嘆の過程に応じた関わりを振り返ってー	第31回石川県看護学会 石川県 金沢大学附属病院 口演発表 2024.11.16(土)	2024/10/18	承認	
R6-38	中村 慶史	当院における閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置の現状と治療成績	第125回日本外科学会定期学術集会 宮城県 仙台国際センター 2025.4.10~12	2024/10/23	承認	
R6-39	西谷 章子	抗菌薬処方に関する実態調査	第94回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第72回日本化学療法学会西日本支部総会 兵庫県 神戸国際会議場・神戸ポートピアホテル 2024.11.14(木)~16(土) 口頭発表	2024/10/30	承認	
R6-40	岡部 克彦	抜歯時に局所麻酔薬のキシロカインによってアナフィラキシーが生じた1例	令和六年度石歯学報 第8号 論文投稿	2024/10/31	承認	

申請番号	申請者	申請内容	学会名日時等	判定日	判定	備考
R6-41	樋口 陽子	NST における特定看護師の役割～特定行為実践における栄養評価の重要性～	第 40 回日本栄養治療学会学術集会「栄養治療の船出」 神奈川県 パシフィコ横浜 示説 2025.2.14 (金)～15 (土)	2024/12/26	承認	
R6-42	安間 圭一	令和 6 年能登半島地震における透析患者避難：石川県保健医療福祉調整本部の活動	第 30 回日本災害医学会総会・学術集会記念大会 愛知県 名古屋市国際会議場 2025.3.6 (木)～8 (土)	2025/01/09	承認	
R6-43	安間 圭一	令和 6 年能登半島地震における石川県保健医療福祉調整本部 高齢者施設班の活動	第 30 回日本災害医学会総会・学術集会記念大会 愛知県 名古屋市国際会議場 2025.3.6 (木)～8 (土)	2025/01/09	承認	
R6-44	山本 和加子	人間ドックで HbA1c が測定不能を示した 1 例	第 49 回石川県医学検査学会 北陸大学 太陽が丘キャンパス 2025.3.20 (木) 口頭発表	2025/01/10	承認	
R6-45	山本 誠	能登半島地震発災後の対応事例分析による急性期病院における患者受入に必要な要素の調査	第 29 回日本医療情報学会春季学術大会 宮城県 仙台国際センター口演もしくはポスター発表 2025.7.3(木)～5(土)	2025/02/19	承認	
R6-46	川上 渉	当院における Photon-Counting CT と Dual-Layer CT の臨床での棲み分けについて	第 17 回北陸 3 県診療放射線技師学術研修会 石川県立中央病院 口述 2025.3.2(日)	2025/03/07	承認	※次回より承認日が発表前となるよう、余裕を持って事前申請して下さい。
R6-47	竹野 和枝	手術患者のラテックスアレルギー防止への取り組み～問診表の運用方法を統一した評価～	第 42 回日本手術看護学会 北陸地区学会 石川県地場産業振興センター 口演 2025.7.5(土)	2025/03/14	承認	
R6-48	加瀬 希奈	AYA 世代における甲状腺嚢胞癌の経験	第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 岡山県 倉敷市民会館 ポスター発表 2025.6.19(木)～20(金)	2025/03/19	承認	
R6-49	上田 貴大	インスリン製剤に関するインシデント減少に向けた関わりーインスリン注射指示受けマニュアル改訂後の評価ー	第 12 回 JADEC 年次学術集会 千葉県 パシフィコ横浜 ノース ポスター+オンライン動画 2025.7.19(土)～20(日)	2025/03/31	承認	
R6-50	田邊 晴葵	頭頸部癌化学放射線療法患者の必要エネルギー量の設定についての検討	第 19 回日本栄養治療学会中部支部学術集会 富山県 富山国際会議場 2025.7.20(日)	2025/04/03	承認	
R7-1	室塚 登紀子	食生活チェックシートを用いた慢性透析患者の栄養評価について	第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 大阪府 大阪国際会議場 口演 2025.6.27(金)～29(日)	2025/04/10	承認	
R7-2	小笠原佐緒里	ICT 環境ラウンド結果を効果的にフィードバックできる方法を検討し、環境の改善につなげる意識を全員が持てるようにしたい。	看護実践学会学術集会 石川県 地場産業振興センター 2025.9.27(土)	2025/04/11	承認	
R7-3	岡部 克彦	Orofacial granulomatosis を呈した歯肉肥厚が初発症状となったクローン病の 1 例	第 50 回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会 愛知県 名古屋コンベンションホール一般講演 2025.6.7 (土)	2025/04/14	承認	
R7-4	小林 泰	腐骨除去後に病的骨折部位の骨の癒合を認めた MRONJ 患者の 1 例	第 50 回日本口腔外科学会中部支部学術集会 愛知県 名古屋コンベンションホール一般講演 2025.6.7 (土)	2025/04/14	承認	

申請番号	申請者	申請内容	学会名日時等	判定日	判定	備考
R7-5	岡部 克彦	顎関節症と診断された三叉神経近傍腫瘍の1例	第38回(一社)日本顎関節学会総会・学術大会 東京都 学術総合センター 口演 2025.7.11(金)～13(日)	2025/04/25	承認	
R7-6	石井 要	CVポートを教育する	第62回日本外科代謝栄養学会学術集会 東京 2025.7.3(木).4(金)	2025/04/30	承認	
R7-7	石井 要	ddEC療法によりニューモシスティスカリニ肺炎を発症した乳癌症例	第33回日本乳癌学会学術集会 東京 2025.7.10(木)～12(土)	2025/04/30	承認	
R7-8	谷内 理恵子	Photon-Counting Detector CTによるDIC-CT検査の有用性	第63回全国自治体病院学会 群馬県 Gメッセ群馬 ポスター発表 2025.10.30(木)～31(金)	2025/05/29	承認	
R7-9	岡部 克彦	上唇に発生した腺癌NOSの1例	第70回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 福岡県 福岡国際会議場 示説 2025.11.14(金)～16(日)	2025/05/29	承認	
R7-10	小笠原佐緒里	認定看護師と特定看護師で協働するスタッフ教育方法の検討	第63回全国自治体病院学会 in 群馬 群馬県 Gメッセ群馬 示説 2025.10.30(木)～31(金)	2025/06/17	承認	
R7-11	渋谷 翼	第1回MAGNETOM Japan GPへのMRI画像提出	第1回MAGNETOM Japan Grand Prix 8月中に選考があり本選出場演題が決定演題採択となった場合9/27大崎ゲートシティで発表 2025.9.27(土) 発表方法未定	2025/06/19	承認	
R7-12	金原 寛子	電子処方箋における調剤薬局との連携	第54回 北陸三県国保地域医療学会 石川県地場産 2025.7.27(日)	2025/07/02	承認	
R7-13	立浦 翔大	アミロイドPET検査の運用について	日本核医学技術学会 第135回北陸地方会 zoomによるweb発表 2025.7.19(土)	2025/07/04	承認	
R7-14	石井 要	免疫チェックポイント阻害剤投与によって内分泌障害を発症したトリプルネガティブ乳癌の一例	第22回日本乳癌学会中部地方会 名古屋 一般演題 2025.9.20(土)～21(日)	2025/07/07	承認	
R7-15	石井 要	CVport造設を回避出来たPEG困難症例の経験	第29回PEG・在宅医療学会学術集会 東京 シンポジウム 2025.9.27(土)	2025/07/07	承認	
R7-16	石井 要	横行結腸穿孔となっていたPEG症例に対して、PTEGを施行した一例	第23回PTEG研究会学術集会 東京 一般演題 2025.9.28(日)	2025/07/07	承認	
R7-17	石井 要	CVport造設術の工夫	第87回日本臨床外科学会学術集会 東京 要望演題 2025.11.20(木)～22(土)	2025/07/07	承認	

○学術報告等にかかる審査案件について質問等あるか。

○以上、令和6年度分38件、令和7年度17件について、承認された。

4. これまでの審査事項にかかる経過報告 (資料25)

病院長から経過を報告した。

審査事項に関する経過報告（前回報告後の状況）

【平成16年度審査分】

1. 農薬中毒の報告（16-2：医療サービス）
2024年度1例。（継続）

【平成22年度審査分】

2. 日本臨床データベース機構への手術・治療情報登録における個人情報の取扱いについて（22-34：外科）
日本臨床データベース構築において、手術・治療情報は永続的に登録していかなければならない。研究期間は無期限であり、年間600件程の登録がある。2024.1.1～12.31の症例数：887件。臨床研究担当者変更。

【平成26年度審査分】

3. National Clinical Database への症例登録（26-5：泌尿器科）
NCDへの症例登録は永続的。2024年度の症例数448件。（継続）
4. 北陸地区における包括的薬剤耐性菌サーベイランスと伝播様式の解析（26-12：検査室）
新型コロナウイルスの流行以降、本研究の中心である北陸耐性菌サーベイランス研究会の活動が中断しており、今後も活動の目処が立っていないため（中止）

【平成27年度審査分】

5. 日本循環器学会事業の一環である循環器疾患治療実態調査 JROAD による「レセプト及びDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業」（27-21：循環器内科）
2024年に2023.4月～2024.4月までをデータベースにて作成し、提出。（医療サービス課より）
循環器専門医研修施設の更新のため毎年提出。（継続）。研究担当者変更。

【平成28年度審査分】

6. 胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後に実施する上部消化管内視鏡検査の適切な間隔を検討する無作為化比較研究（28-26：消化器内科）
登録期間終了。現在観察期間

【平成29年度審査分】

7. 半導体検出器 SPECT を用いた核医学検査の精度向上に関する研究（29-16：甲状腺診療科）
研究期間：2025.12.28まで。症例数：54症例。継続研究として123I-MIBGのデータベースを構築している。本研究の一部は現在論文公開予定である。更に、99mTc-PYP/201TIによる心臓アミロイドーシスの診断法の開発にも着手している。（継続）
8. 疫学調査「口腔がん登録」（29-20：歯科口腔外科）
研究期間：2023～2028年。症例数：18件、口腔がん症例。（継続）

【平成30年度審査分】

9. 日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性球体硬化症 variant の予後についての二次調査（30-8：腎リウマチ内科）
研究期間：～2025.12.31。症例数：0例。2025年まで追加論文の準備のため、研究期間延長。追加のデータ収集なし。（継続）

10. フッ素 18 標識 (^{18}F)FDG-PET と炭素 11 標識(^{11}C)PIB PET を用いた認知機能障害におけるアミロイド β の病態解明に関する研究 (30-32 : 甲状腺診療科)
研究期間 : 2029.3.31 まで。症例数 : F-18-FDG-PET 3,724 例(内ドック 0 例)と C-11-PIB-PET 26 例(内ドック 0 例)がエントリーされ、PET 検査を実施した。血液データ含め、現在まで有害事象は認めていない。(継続)
11. 認知機能障害を有する被験者を対象とした F-18 FDG-PET と C-11 PIB-PET による早期認知症疾患の病態解明の研究 (30-33 : 甲状腺診療科)
研究期間 : 2027.3.31 まで。症例数 : F-18-FDG-PET 2 例と C-11-PIB-PET 11 例がエントリーされ、PET 検査を実施した。金沢大学附属病院脳神経内科で追跡調査中。血液データ含め、現在まで有害事象は認めていない。(継続)

【令和元年度審査分】

12. 肝細胞がん発症リスクを有する患者における発がん予測因子としての血清ラミニン γ 2 単鎖測定の有用性を検討する臨床研究 (31-17 : 消化器内科)
症例数 : 当院 238 例、離脱者 67 例。試験期間は 2023.3.31 となっているが、試験期間延長などに伴う研究計画書及び説明文書・同意書の改訂 (継続)
13. 日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究 (31-18 : 整形外科)
症例数 : 累計登録数 1,521 例。2024 年度は 288 例を登録。(継続)

【令和 2 年度審査分】

14. 日本脳神経外科学会データベース研究事業 (R2-3 : 脳神経外科)
研究期間 : 2020.4.20 ~ 永続的。症例数 : 2024 年度 40 例。入院患者の登録事業で本年も継続している。
15. 腹腔鏡下胃切除術後の術後鎮痛に対する静注アセトアミノフェン定時投与と硬膜外鎮痛のランダム化比較試験 (R2-9 : 外科)
症例数 : 全体 148 例、当院 36 例。症例登録、解析終了。Primary end point である「術後 24 時間の安静時における術後鎮痛」に対し、アセトアミノフェン定時投与は硬膜外鎮痛に対する非劣性を証明した。
16. レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査 (R2-18 : 脳神経外科)
研究期間 : データベース構築のため永続的。レセプト情報の提供のため正確な症例数を把握していない。2025 年度も継続している。
17. COVID-19 無症状~軽症患者のための補中益気湯・葛根湯併用による悪化予防効果の検討探索的オープンラベルランダム化比較試験 (R2-19 : 消化器内科)
大学にて研究終了。

【令和 3 年度審査分】

18. 橈骨遠位端骨折例の骨粗鬆症に対する治療介入の有効性の検討《多施設共同研究》(R3-4 : 整形外科)
研究期間 : 2021.1.1 ~ 2026.3.31(症例登録)。2021.1.1 ~ 2031.3.31(解析期間)。症例数 : 40 例。これまでの登録者数は 48 例でドロップアウト 8 例 (継続)
19. 2 型糖尿病合併の保存期慢性腎臓病の腎性貧血患者に対する vadadustat の代謝パラメーターへの影響に関する探索的研究 (R3-7 : 腎リウマチ内科)
研究期間 : 2022.2.14 ~ 2024.12.13。症例数 : 1 例。金沢大学にて 2024.12.13 研究終了。

20. 半導体 SPECT 装置による I-123 および 2 核種同時収集法の最適化 (R3-11: 甲状腺診療科)
研究期間: 2025.12.28 まで。症例数: 16 症例。継続して、2 核種同時収集の診断精度を検討しており、一部論文文化も開始している。
21. 甲状腺癌アイソトープ内用療法症例の登録調査 (R3-12: 甲状腺診療科)
研究期間: 2026.3.31 まで。症例数: 金沢大学核医学診療科が主幹の多施設共同研究。当該年度の当院からの症例エントリーはなし。引き続き、甲状腺癌のアイソトープ治療症例があれば登録を継続する。
22. 総合病院の精神科病棟勤務によって得られる精神科看護とは何か (R3-14: 看護部 5階東病棟)
研究期間: 2021.2~2024.6。症例数: 10 件。R6.6 月末に第 49 回日本精神科看護学会で発表したため終了。

【令和 4 年度審査分】

23. 医療機関の電子診療情報を基にした医療系データベースの構築 (R4-1: 泌尿器科)
データベース構築のため研究期間は永続的、診療情報分析レポートを作成するため、全症例提出。
24. 慢性腎疾患・心不全患者における高カリウム血症の長期管理に対する疾患負担と治療の負担を評価するための前向きコホート研究 (R4-6: 循環器内科)
研究期間: 2022.1.1~2024.8.31。症例数: 同意取得例数: 14 例、実施例数: 14 例。予定通り研究期間内に全症例の観察期間が終了し、本研究のデータ固定が完了。
【研究結果の概要】
有効性: 本研究では薬効に対する有効性の情報収集は行わない。なお、症状や QOL に関する PRO(患者報告型アウトカム)のデータを取得しているが現在解析中である。
安全性: 本研究では安全性の情報収集は行わない。
「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の遵守状況: 不遵守なし
その他: 中止例数: 1 例、中止理由: 1017-014 医師判断
本研究の結果は論文及び学会にて公表予定だが、時期は未定。
25. 虚血性心疾患患者の指導の有効性と患者の行動変容について (R4-7: 看護部 外来 1)
研究期間: 2022.7~2024.3。症例数: 13 名。2024.11.9 日本心臓リハビリテーション学会北陸支部地方会で研究発表が終了。
26. 緩和的放射線治療を受ける患者の全人的苦痛と看護支援 (R4-9: 看護部 外来 2)
研究期間: 2022.8~2022.9。症例数: 16 症例。研究発表が終了したため。
27. 脳老化関連疾患の新規診断および予防・治療法の開発 (R4-10: 甲状腺診療科)
研究期間: 2026.3.31 まで。症例数: 1 例。金沢大学脳神経内科が主幹の多施設共同研究。引き続き、症例があれば登録を継続する計画。
28. 末梢血管形成術 (以下 EVT) 時における経皮酸素分圧 (以下 tcpO₂) 術中モニタリングにおける End point 評価と経時的治療効果判定の検討 (R4-14: 検査室)
研究期間: ~2024.12 (予定)。症例数: 40 症例。2025.3 石川県医学検査学会は講師として参加のため発表できず。2026.3 の同学会にて発表予定。
29. HCU 病棟における身体拘束解除に関する意識調査 (R4-19: 看護部 HCU 病棟)
研究期間: 2023.1.13~2024.9。症例数: 9 例。2024.9.28 に開催された日本看護協会学会にて発表を終

えたため、研究活動は終了。

30. 撮影済みアミロイド PET を用いた視覚評価に与えるアミロイド定量ソフトウェアの影響に関する研究 (R5-1 : 甲状腺診療科)
研究期間 : 2023.4.20~2024.4.19. 症例数 : 64 例。アミロイド定量ソフトウェアの有用性を評価するため、全国の報告を研究責任者が集計した。アミロイド陰性・陽性の判定に関する検討では、¹¹C-PIB に比して ¹⁸F-flutemetamol は、センチロイドのカットオフがより高値となることが示された。研究責任者が今年秋の日本核医学会で発表する。
31. 日本腎臓病総合レジストリー (R5-4 : 腎リウマチ内科)
研究期間 : 2028.12.31 まで。症例数 : 376 例。腎生検、腎臓病の総合データベース構築に必要な研究であるため、永続的に継続。
32. 「腸内細菌叢と内科疾患の関連を解明する包括的研究のための試料保存と活用」 (R5-6 : 消化器内科)
研究期間 : 2017.9.20~2027.4.30. 症例数 : 37 例。2025.3.31 で代表者が退職のため終了。
33. Dual Energy CT による CT 陰性結石の可視化の検討および超音波画像での比較検討 (R5-7 : 放射線室)
研究期間 : R5.6~R6.10. 症例数 : 0 件。CT 陰性の胆嚢結石の症例で胆嚢摘出術を行う対象症例を手術までに探し、患者様から同意を得る事ができなかった為、中止。
34. 末梢血白血球を用いた全ゲノム解析および遺伝子発現プロファイル解析による新たな内科疾患評価法の確立 (R5-10 : 消化器内科)
研究期間 : 2027.3.31. (登録期間 : 2024.1~2024.12). 症例数 : 70 例で終了。
35. 冠動脈の偏心性石灰化病変に対する OA(ダイヤモンドバック)と RA(ロータブレード)併用テクニックを用いた治療の有効性に関する多施設共同研究 (R5-11 : 循環器内科)
研究期間 : 2023.10~2026.12. 症例数 : 当院 2025.5 時点で 5 例
36. 臨床現場で INARS(急変対応研修)を活かすプロセス-生命徴候の変化に気づく臨床判断能力の定着- (R5-12 : 教育研修部)
研究期間 : 2024.2~2024.12.
【研究結果報告】
研究目的 : INARS 受講の指導的役割にある看護師が、学びをどのように活かし、成長したかのプロセスを明らかにする。
研究方法 : INARS を受講した指導的役割にある看護師 10 名を対象に、半構造化面接を実施した。分析方法は、継続的比較分析法による質的研究法の M-GTA を用いた。
研究結果 : M-GTA 分析から「急変対応の指導者として成長するプロセス」を理論生成した。成長過程に必要な要素は、①ABCD 一次評価を正確に形式知として獲得する。②臨床現場で急変対応の経験を繰り返す。③急変対応の省察を繰り返すことであると示唆した。
星槎大学大学院教育実践研究科の修士論文として提出。今後、学会等への発表を予定。
37. 北陸プラス心不全登録観察研究 (R5-17 : 循環器内科)
研究期間 : 許可日~2027.3.31. 症例数 : 81 例/100 例目標
心不全患者を対象として前向きに登録し、1 年間の経過をおいてイベント発生、デジタルバイオマーカー、その他臨床指標の解析を行っている。

38. 抗菌薬処方に関する実態調査 (R5-18 : 薬剤室)

研究期間 : 2023.12~2024.2。症例数 : 104 件(アンケート回収)。

2024.3.21 に行われた白山ののいち感染対策ネットワーク第 5 回研修会にて結果報告を行った。研修会のスライドを院内グループウェアの掲示板で 2024.4 月中に掲示。調査結果について、2024.11.14~11.16 に開催された第 72 回日本化学療法学会西日本支部総会で発表し、研究を終了した。

39. 認知機能低下を自覚する高齢発症 2 型糖尿病患者が糖尿病教育を自身の生活へ取り込む体験 (R5-20 : 看護部)

研究期間 : 当院倫理審査承認日 2024.3.1~2028.3.31。症例数 : 当院を含めた 3 施設で 10 例
2025.1 月修士論文として大学へ提出されており終了とする。

40. 心アミロドーシスにおけるピロリン酸シンチの新しい定量法の提案 (R5-21 : 放射線室)

研究結果をまとめて国際誌 European Journal of Nuclear Medicine Molecular Imaging (EJNMMI) Reports に投稿し、2025 年 6 月 2 日採択された。近日中に publication される予定。終了

41. 手術患者のラテックスアレルギー防止への取り組み (R5-22 : 手術室)

研究期間 : 2024.4.8~2024.6.28。症例数 : 163 人

研究終了し、2024.11.30(土)院内看護研究発表会で発表。同じ内容を 2025.7.5(土)手術室看護学会 北陸地区学会にて院外発表予定。

42. 臨床検体から分離された侵襲性感染症原因菌の分子疫学解析と薬剤耐性化の経年的推移 (R5-23 : 検査室)

研究期間 : ~2026.3.31 迄、症例数 : 令和 6 年度は GAS3 件、GBS7 件、SDSE12 件、肺炎球菌 1 件、令和 6 年度は合計 23 件のアンケートと菌株を送付した。令和 7 年度肺炎球菌のみが対象となる。

- 当院→終了(中止) 7、継続 4、大学等主導→終了(中止) 8、継続 1 3、サーベイランス→終了(中止) 1、継続 9。
- 質問等がなければ、承認としてよろしいか。
- 以上 1. ~42. について承認された。

5. その他

- 2. (20)「Photon-counting CT を用いた転移性骨腫瘍の性状・局在把握能の検証」と、先日書面での審査を終えた「Photon-counting CT を用いた放射線治療後の赤色骨髄変化の検討」は続き物か？
2. (20)は骨髄モードで撮影するとどのように撮れるか？であり、先日の研究は治療前後の比較パターンによる映り方の違いを研究するものであるため、2 件は異なるものである。
- 申請書の研究計画様式は統一したが、今後、終了報告書を提出することで内容、結果を記録するよう変えていきたい。

ほかに意見なく終了。